

ユネスコ第1回世界無形遺産 能楽



第5回 みおつくしチャリティー能

令和4年12月25日(日)

会場・大槻能楽堂

第1部 10時開演

第2部 15時開演

観世流能	大蔵流狂言	観世流能	観世流舞囃子
宝生流舞囃子	鬼瓦	観世流能	観世流舞囃子
三輪	忠度	大蔵流狂言	忠度
玄象	班子女	金春流能	班子女
窈	柑子	大蔵流狂言	柑子
	羽子	観世流能	羽子

(開場・各30分前)

主催・公益社団法人能楽協会 大阪支部

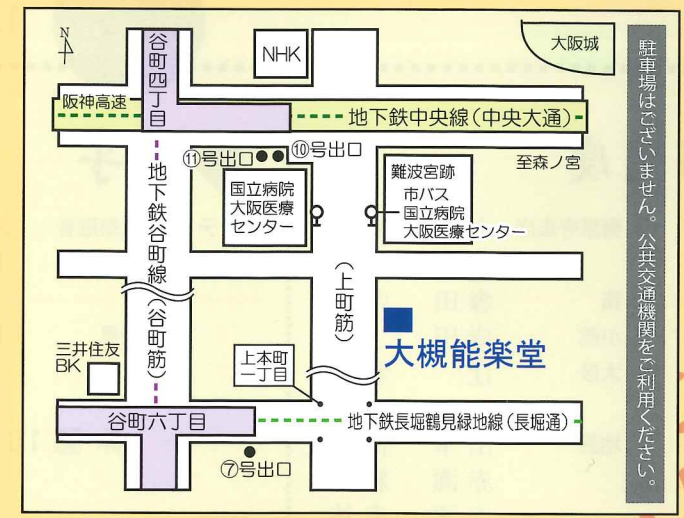
義捐金は国連高等難民弁務官事務所を通じて 難民支援金として役立てられます。

みおつくしチャリティー能

会場のご案内

大槻能楽堂 大阪市中央区上町A-7

- 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」下車、⑩号出口を出て南へ約300m。(⑪号出口にエレベーター有り)
又は谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」下車、⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーター有り)
- 市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ。
※大阪駅から62号系統「住吉車庫前」行乗車。
※「あべの橋」(天王寺)から62号系統「大阪駅前」行乗車。



本公演における写真撮影・録音・携帯電話等にての撮影・録音は著作権・肖像権に触れますので遠慮いただきますようお願いいたします。

Unauthorized recording or photography of the performances is prohibited and a violation of copyright. (Thank you for understanding and we hope you will have a good time.)

ご挨拶

本日はご来場頂きまして、誠に有り難うございます。第五回目を数えます本公演は、およそ二年ぶりの開催となります。

前回の公演で頂戴しました義援金1,000,963円は、社会福祉法人・読売光と愛の事業団へ被災者支援金としてお送りしました。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

今回は特定の災害では無く、世界的に協力が求められている難民支援金として、国連高等難民弁務官事務所を通じお送り致します。

皆さまのご支援、何とぞよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人能楽協会 大阪支部員一同

お問い合わせ・お申し込みは
公益社団法人能楽協会 大阪支部
 TEL 06-6761-8055・FAX 06-6761-3399
 〒540-0005 大阪市中央区上町A-7 大槻能楽堂内

入場券のご案内

- 入場料【全席自由席】
- 前売 4,000円
- 当日 4,500円
- 学生 2,000円

チケットのご購入について：
 大槻能楽堂・出演各能楽師、チケットぴあ(Pコード515-849)にてご購入いただけます。大槻能楽堂でご購入の場合、お電話もしくは直接窓口にてお求めいただけます。お電話でお申し込みの場合は、公演10日前までに窓口にお引き取りにきていただくか、ご郵送いたします。(送料400円・郵便振替用紙とチケットと一緒に簡易書留にて発送いたします)。なお、一度お申し込みされた入場券につきましては、キャンセル・変更ができません。あらかじめご了承ください。

第1部・第2部入れ替え制です。両方ご覧になる方も、一度外に出ていただいてからの入場となります。あらかじめご了承ください。

- ご来場時のお願い
- ご入場時の混雑を避けるため、距離を取って、屋外にてお待ちいただく場合がございます。
 - ご入場の際は、手指消毒、検温、また、入場券への連絡先のご記載をお願いいたします。
 - 会場内ではマスクの着用をお願いいたします。
 - 大きな声での会話や、お客様同士の密な接触(握手等)はお控えくださいますようお願いいたします。
 - 会場内での飲食はお控えください。
 - ご退場時、一斉にお席を立たれますと階段・玄関が混雑いたします。ご配慮賜りますようお願い申し上げます。
 - 発熱や咳、のどの痛み等、軽度でも体調に不安のある方は、事前に医療機関へご相談ください。

観世流 仕舞 **清経** キリ 宮下 昌子
野宮 赤井 きよ子
国栖 キリ 前田 和子

地謡 塩谷 恵
 立花香 寿子
 前田飛南子
 西野 翠舟

観世流 能 **巴**
 前シテ 里女
 後シテ 巴御前/霊
 ワキ 旅僧
 アイ 里人

笛 貞光 義明
 小鼓 成田 達志
 大鼓 上野 義雄
 後見 山本 博通
 前田 和子

地謡 山本 章弘
 波多野 晋一郎
 小西 弘通
 齊藤 信輔
 上野 雄介
 金子 昭
 山本 麗晃

大蔵流 狂言 **鬼瓦**
 シテ 大名 善竹 隆司
 アド 太郎冠者 善竹 隆平
 後見 小西 玲央

— 休憩 10分 —

宝生流 舞囃子 **三輪**
 シテ 三輪明神 石黒 実都
 笛 貞光 訓義
 小鼓 上田 敦史
 大鼓 森山 泰幸
 太鼓 上田 慎也

地謡 辰巳 満次郎
 辰巳 孝弥
 辰巳 大二郎
 渡辺 珪助
 畑 宏隆

喜多流 仕舞 **和布刈**
 地謡 高林 昌司
 高林白牛 口二
 高林 呻二
 松井 俊介

観世流 仕舞 **知章**
芭蕉 キリ 大西 礼久
阿漕 山本 章弘

地謡 齊藤 信隆
 赤松 禎友
 山本 正人
 稲本 幹汰

観世流 能 **玄象** 究
 前シテ 尉 梅若 猶義
 後シテ 村上天皇
 ツレ 師長 寺澤 幸祐
 前ツレ 姥 上野 朝彦
 後ツレ 龍神 山田 薫
 ワキ 従者 福王 知登
 ワキツレ 従者 中村 宜成
 アイ 師長/従者 善竹 隆平

笛 野口 亮祐
 小鼓 清水 皓也
 大鼓 山本 哲也
 太鼓 中田 弘美
 後見 上野 朝義
 立花香 寿子

地謡 上野 雄三
 大西 礼久
 梅若 基徳
 梅若 堯之
 井戸 良祐
 上野 雄介
 永田 克彦
 梅若 雄一郎

附祝言 終了予定 14:00 頃

能 **班女** (はんじょ)

野上の宿の遊女・花子は、東国へ下る吉田少将を思うあまり勤めを怠り宿屋を追い出されます。

吉田少将が帰京して賀茂神社に参拝のおり、扇を抱く狂女を目にします。

その姿を中国のかの才媛になぞらえて「班女」と言われた花子は、切ない思いを舞に託します。

互いに取交わした扇に寄ってまた目度く結ばれる恋の曲です。

能 **項羽** (こうう)

烏江の野。草刈男達が草を刈り終えて帰るところに、折良く舟に乗った老人に会い乗舟を乞うと、老人は舟賃として美人草を望みます。項羽の後・虞氏の亡骸を埋めた塚から生えた虞美人草。

四面楚歌の内に命を絶った項羽と虞氏。死してなお消えやらぬ執心の有様をまざまざと語ります。

狂言 **柑子** (こうじ)

主人から三ツ成りの柑子を預かった太郎冠者は、頂いたと勘違いして全部食べてしまいました。太郎冠者は言い訳に苦慮します。

第2部 15:00 開演

観世流 舞囃子 **忠度**
 シテ 薩摩守忠度 上野 朝義
 笛 森田 啓子
 小鼓 成田 奏
 大鼓 辻 雅之

地謡 山本 博通
 赤瀬 雅則
 寺澤 幸祐
 上野 朝彦
 伊原 昇

観世流 能 **班女**
 シテ 花子 生一 知哉
 ワキ 吉田少将 福王 茂十郎
 ワキツレ 従者 喜多 雅人
 アイ 野上/宿ノ長 善竹 隆司

笛 赤井 啓三
 小鼓 久田 舜一郎
 大鼓 辻 芳昭
 後見 大槻 文藏
 武富 康之

地謡 齊藤 信隆
 赤松 禎友
 山本 正人
 齊藤 信輔
 水田 雄 薫
 山田 克彦
 鶴 彦
 梅若 雄一郎

大蔵流 狂言 **柑子**
 シテ 太郎冠者 善竹 彌五郎
 アド 主 上西 良介
 後見 上吉川 徹

— 休憩 10分 —

観世流 仕舞 **老松**
通盛 永田 克彦
半蔀 キリ 武富 康之
放下僧 勝部 延和
融 梅若 堯之
 上野 雄三

地謡 井戸 和男
 梅若 基徳
 井戸 良祐
 水田 雄 晤

金春流 能 **項羽**
 前シテ 尉 金春 飛翔
 後シテ 項羽
 後ツレ 虞氏 金春 嘉織
 ワキ 草刈男 廣谷 和夫
 ワキツレ 同伴者 中村 宜成
 アイ 渡守 小西 玲央

笛 貞光 智宣
 小鼓 荒木 建作
 大鼓 山本 寿弥
 太鼓 中田 一葉

後見 酒井 賢一
 湯本 哲明

地謡 金春 穂高
 金春 康之
 佐藤 俊之
 吉川 恵宥
 中田 能光
 田中 直樹

附祝言 終了予定 18:30 頃

第1部 10:00 開演

能 **巴** (ともえ)

近江国・粟津の原を訪れた僧が見たのは美しい涙を流す女性。木曾義仲の終焉の場所で最後の供を許されず形見を託された女武者・巴御前。冬の粟津の原の景色に、恋に生き、戦いの狭間に生きた巴の翻弄された運命が際立つ曲です。

能 **玄象** (げんじょう)

琵琶の名手で雨の大臣と言われる藤原師長。音楽の勉強を志、唐へと向かう途中に須磨の浦へ立寄り老夫婦に宿を借ります。その老夫婦こそ、琵琶の名手として知られた村上天皇と梨壺女御の夫妻で師長の入唐を留めに来たのでした。

素晴らしい音楽は人の心を動かすのみでなく、龍神の心も動かして人の心を潤し豊かにするものです。

狂言 **鬼瓦** (おにがわら)

訴訟が思いのままに叶った大名は、太郎冠者を連れて因幡堂へ御礼参りに出掛けます。ふと鬼瓦を見上げた大名は泣き出してしまいました。